

【ユニット】 医学英語 1

【ユニットディレクター】

UD：藤森 千尋（教養教育）

UD 補佐：Chad Godfrey（教養教育） 種田 佳紀（教養教育） 伊澤 宜仁（教養教育） 林 禅之（教養教育）

【一般的な目標】

医学・医療に関するテーマを扱いながら、聴く、話す、読む、書くの4技能を統合的に高め、医師に求められる基礎的英語運用能力を身につけることを目標とする。また、特に1年次は、在学中及び卒業後、各自の目的や必要性に応じて、自ら積極的に英語学習を継続できるよう、学習習慣の形成と学習方法の習得を重視する。

【具体的な目標】

医学英語ユニットは4つのサブユニット（CLIL, Reading, Academic Writing, 専門書読解）からなり、それぞれに具体的な目標がある。CLIL（Content and Language Integrated Learning）では、特に英語の聴く、話すに重点を置き、医療に関わる話題について英語で聴いて理解し、また自分のまとまった考えを英語で発表できることを目標とする。Readingでは、医学・医療の話題を含む英文を幅広く読み、文体に応じた読解のためのスキルの習得、及び、教材内容の読解を通して医療の諸問題について、問題意識を持ちながら理解を深める。Academic Writing(AW)は、論理的、創造的に思考し、考えた内容を一貫してまとまった英語で表現できるための文章構成法や英語表現を身につける。医学英語専門書読解（Medical English, ME）では、2年で学習する基礎医学に関する専門書を読解するために必要な、基礎的な専門用語の習得及び科学的文章の読解スキルを習得する。このように、4つのサブユニットではそれぞれに重点を置く技能が異なっているが、各サブユニットが連携しており、4技能の統合的な向上を図ることを目的としている。また入学当初に TOEFL などの外部基準の試験を受け、客観的な英語熟達度を把握する。TOEFL は4年次にも受けるため、英語学習の道標として、各自、目的や必要に応じて学習計画を立てて実行し、継続的に英語学習を行う方法を身につけてほしい。

1. まとまりのある話の概要や要点を英語で聞いて理解することができる。
2. 関心あるテーマに関して、自分の考えをまとめ、英語で分かり易く伝えることができる。
3. 新聞や雑誌記事などの要点を理解し、的確に正確に読み取ることができる。
4. 文章の種類や内容に応じて、文章全体の構成を理解して読解できる。
5. 問題意識を持ちながら文章を読み、自分なりの考えをまとめることができる。
6. 段落や文章全体の構成を理解し、論理的に一貫したまとまった文章を英語で書くことができる。
7. 関心あるテーマについて調べた内容の概要や要点に加え、それに対する自分の意見や考察を英語で書くことができる。
8. 基礎医学に関する専門書を読み、理解した内容について要点を捉えて説明できる。
9. 医学・医療に関する基本的な英語の専門用語を身につけ、運用できる。

【学習方法】

医学英語ユニットは演習科目であり、各サブユニットは分割クラスによって、少人数で展開する。CLILでは、関心あるテーマについて調べ物をして互いに情報交換したり、プレゼンテーションを行ったりしながら、受信のみならず、発信を重視した学習活動を行う。Readingでは、毎回、異なったテーマの600語程度の英文を読み、細部の文法構造を理解しつつ、文章全体における著者の意見を批評的に読み取り、自分の考えを述べる。Academic Writingは、毎回、あるテーマに沿って200語以上のまとまった文章を書く。初稿を書いた後、日本人と外国人講師の教員チームからのフィードバック、ピアフィードバック

をもとに書き直し、最終稿を書き上げて提出する。専門書読解は、細胞生物学や解剖などの授業で学習した、既習内容に関して英語で書かれた教科書を読解し、要点をまとめる。基礎科学系及び基礎医学系科目の教員と英語教員がティーム・ティーチングで解説し、質問や疑問点に対して応答する。課題や試験のフィードバックの方法は各サブユニットによって異なるが、授業内での解説、ルーブリック採点の返却、WebClass や授業における講評にて行う。各サブユニットの予習・復習を含めた学習方法の詳細はオリエンテーションにて説明し、WebClass にも掲示する。

1. 水曜日に CLIL の授業（外国人講師）と Reading（日本人講師）の授業がある。1 限に全体会のオリエンテーションや医学英単語試験などが入る場合があるが、基本的に 1 限は、CLIL の合同クラス、2 限と 3 限に、CLIL あるいは Reading の少人数クラス、いずれかを受ける。
2. 金曜日に Academic Writing と専門書読解の授業がある。学年が半分に分かれ、隔週で Academic Writing と専門書読解の授業を受ける。

【評価方法】

医学英語は演習科目のため、出席が 75% に満たないものは評価の対象とならない。成績は 4 つのサブユニットが各 100 点満点でつけられ、その平均で 65 点以上を合格とする。各サブユニットでは、筆記試験やプレゼンテーション及び平常点（出席・遅刻の状況、ワークシートや課題提出などの取り組み）などで総合的に評価される。各サブユニット評価の内訳については WebClass にて提示する。4 つのサブユニットの平均で 65 点に満たない場合は、再試の機会が与えられるが、その試験内容や合否判定基準については WebClass にて提示する。

【教科書】

◆ CLIL: CLIL Health Explorations, SANSHUSHA ; Reading, AW, 専門書読解：事前に配布、または WebClass に授業用資料をアップする。

【参考書】

◆ 必要に応じて各授業内で紹介する。

【授業予定表】

オリエンテーション 全員共通

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
医学英語 1 1	04月17日	(木)	4~6	オリエンテーション、TOEFL テスト	藤森（教養教育） Godfrey（教養教育） 種田（教養教育） 伊澤（教養教育） 林（教養教育）

水曜日 1 限は全員 CLIL、2, 3 限はグループ毎に Reading と交替

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
医学英語 1 2	05月07日	(水)	1~3	オリエンテーション(2) ・ Reading/CLIL #1	種田（教養教育） 伊澤（教養教育） 林（教養教育） Godfrey（教養教育）、他

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
医学英語 1 4	05月21日	(水)	1～3	Reading/CLIL #2	種田 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) Godfrey (教養教育), 他
医学英語 1 6	05月28日	(水)	1～3	Reading/CLIL #3	種田 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) Godfrey (教養教育), 他
医学英語 1 8	06月04日	(水)	1～3	Reading/CLIL #3	種田 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) Godfrey (教養教育), 他
医学英語 1 10	06月11日	(水)	1～3	Reading/CLIL #5	種田 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) Godfrey (教養教育), 他
医学英語 1 12	06月18日	(水)	1～3	Reading/CLIL #6 (CLILExam)	種田 (教養教育) 伊澤 (教養教育) 林 (教養教育) Godfrey (教養教育), 他

金曜日

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
医学英語 1 3	05月16日	(金)	1～2	オリエンテーション (3)・ AW全体会	伊澤 (教養教育) 種田 (教養教育) 藤森 (教養教育) Godfrey (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 1 5	05月23日	(金)	1～2	AW/ME #1-1	伊澤 (教養教育) 種田 (教養教育) 藤森 (教養教育) Godfrey (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 1 7	05月30日	(金)	1～2	AW/ME #1-2	伊澤 (教養教育) 種田 (教養教育) 藤森 (教養教育) Godfrey (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 1 9	06月06日	(金)	1～2	AW/ME #2-1	伊澤 (教養教育) 種田 (教養教育) 藤森 (教養教育) Godfrey (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 1 11	06月13日	(金)	1～2	AW/ME #2-2	伊澤 (教養教育) 種田 (教養教育) 藤森 (教養教育) Godfrey (教養教育) 林 (教養教育)
医学英語 1 13	06月20日	(金)	1～2	AW・英単語テスト (1)	伊澤 (教養教育) 種田 (教養教育) 藤森 (教養教育) Godfrey (教養教育) 林 (教養教育)